

「人と自然が向き合い、語り合うまち、須賀川」～一人ひとりの個性が輝き、
「生きる力」を育む教育活動の推進～
☎0248-79-2180



○小塩江小祭り 実行委員会から (写真上)

- 実行委員長 6年 吉田 美月さん
- セレモニー部 部長 6年 女子
- 副部長 5年 女子
- ビッグアート部部長 6年 男子
- 副部長 6年 男子
- 会場作成部 部長 6年 男子
- 副部長 6年 男子

自分たちの力で小塩江小祭りを成功させようと実行委員会を立ち上げ、がんばっています。

○18日(土) 親子奉仕作業・PTA 役員会・第4学年行事大変お世話になりました。お陰様で校舎の窓ガラス等大変きれいになりました。

○24日(金) 校内持久走大会

低学年 1000M、中学年 1300M、高学年 1700M を本校校庭及び周辺道路を使って走りました。それぞれに力を出し、走り抜くことができました。沿道の安全指導、声援の協力ありがとうございました。

○29日(水) NHK 体験学習 (5年・6年生)

郡山のNHK放送関係の体験や見学をしてきました。初めての経験で緊張しながら音響係やアナウンス係などの体験をしました。

【11月上旬の主な予定】

- 11月11日(火) 県学力調査5年
- 12日(水) 就学時健診
- 13日(木) 移動図書館
- 15日(土) 小塩江小祭り
- 17日(月) 繰替休業日

◎入賞おめでとうございます

○岩瀬地区作文コンクール

- 入選 1年 男子「おとうとがうまれた」
- 2年 男子「ゆいとおへそ」
- 3年 女子「大すき!小塩江・須賀川市!」
- 4年 女子「棚倉町スポーツ少年団総合選手権大会」
- 5年 女子「私はふくしま子ども大使」
- 6年 女子「楽しかった宿泊学習」

【県PTA研究大会須賀川大会 第3分科会の記録より】

テーマ：インターネット依存症を防ぐために

講師 大堀 満 株式会社シナノカ代表

1 講演の趣旨

(1)「依存」に陥るサイクルは「楽しい」という「体験・成功体験→忘れられない→同じ体験を追い求める→自己コントロール不能→依存」というものである。しかしこれは「勉強した→成績が上がった→さらに勉強する」というサイクルと同じである。どちらも脳内の機能の一部であり、「依存」は意志が弱いとか強いとかではなく、だれにでも起こりうる現象である。

(2)「依存」に陥っている本人は「楽しい」ので、気づきようがない。周りの人の関わりが重要である。

(3)人はだれでも認められたい。ネットの中では認められるから、子どもはネットに依存するのである。

2 まとめ

家庭教育の中でよい習慣を身につけ、ネット以外の所で子どもの成功・感動体験を増やすことにより、子どもが「認められた」という実感を持つことができる経験を増やしていくことが重要である。

※本校でも例外ではなく、子どもの会話を聞いているとゲームやネットに関する内容の話が多いです。低学年のA子さんから、友だちに「ゲーム以外の話をしよう。」という声も聞こえてきます。子どもたちが、自分の夢を実現し社会を生き抜いていくためには、小学校の時期がとても大切です。ぜひ、子どもさんとのふれあいを大切にして、成功・感動体験を増やしたり日常の小さな頑張りを認めたりしていきたいものです。